

競技審判上の注意

- 1 本大会は、公益財団法人日本バドミントン協会令和6年度競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程により行います。
- 2 試合は、第1ダブルス・シングルス・第2ダブルスの順で行います。ダブルスとシングルス、第1ダブルスと第2ダブルスに兼ねて出場することはできません。
- 3 試合（マッチ）は15点3ゲームマッチとします。14点オールになった場合は、2点リードしたサイドが勝者となります。20点オールになった場合は、21点目を得点したサイドが勝者となります。
- 4 各試合（マッチ）のインターバルは次のとおりです。
 - ①各ゲームにおいて、一方のサイドが8点になったとき、60秒を超えないインターバルを認めます。
選手は20秒前にはコートに入ってください。
 - ②第1ゲームと第2ゲーム間、第2ゲームと第3ゲーム間に120秒を超えないインターバルを認めます。
選手は20秒前にはコートに入ってください。
- 5 インターバル中のアドバイスは、同時に2人までコートに入ってもよいが、主審が「（コート番号）20秒」とコールしたら速やかにコートから離れてください。
- 6 ベンチに入ることができるのは、監督1名、コーチ1名、選手8名以内とします。
- 7 試合（マッチ）中の水分補給、汗拭き、ラケットの交換、靴ひもの締め直し等、コートを離れる場合は、必ず主審の許可を得てください。
 - ①試合時に必要なドリンク容器は、倒れてもこぼれない蓋付きボトルを使用して各自バッグ等に収納し、主審横に置いてください。
 - ②氷嚢は、インターバル中のみ使用を認めます。ベンチまたはコーチ席で小型の保冷バッグ（ソフトバック）等に入れ、保管してください。
- 8 主審が必要と認めた以外のプレーの中断は一切認められません。
- 9 シャトルは試打してありますので、選択は認めません。また、シャトルの交換については主審が決定しますので、指示に従ってください。
- 10 試合（マッチ）中のけがや病気に対しては、主審が判断します。主審が必要に応じて競技役員長（レフェリー）を呼んだ時は、競技役員長（レフェリー）の判断に従ってください。
- 11 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認めません。もし判定に対して疑問のある場合には、次のサービスが行われる前に「質問」をすることができます。ここで質問のできる者とは、当該選手及び監督に限りです。
ただし、試合を開いて行う場合のみ、コーチの質問も認めます。
- 12 試合（マッチ）中、コーチは許可されたインターバルの間を除き、指定された席に着席するものとし、試合（マッチ）中はコートのそばに立ってはいけません。また、コーチが他のコートに移動したいときは、必ずインプレーでないときに行ってください。
- 13 競技フロア内での携帯電話等の使用は、一切認めません。携帯電話等は電源を切るか、マナーモードにしてください。
- 14 試合（マッチ）中にモバイル機器（iPad・携帯電話等）の使用は禁止とします。
- 15 スムーズに試合を進めるため、オーダー用紙の提出を以下の通りとします。
オーダー用紙の提出先は、本部席に設けます。
 - ① 3月1日の各リーグ試合番号①のオーダー表は3月1日の13：00までに提出してください。
 - ② 3月2日の各リーグ試合番号②のオーダー表は3月1日の17：00までに提出してください。
オーダー提出後の選手の変更は認めませんが、体調不良等でやむを得ず選手を変更する場合は、試合当日の8：30までに大会本部に申し出てください。変更を認めます。
 - ③ 3月2日の各リーグ試合番号③以降の試合分については場内放送で連絡しますので指示に従って提出ください。
- 16 コート入場後の公式練習は、試合のできる服装で、主審の指示により各試合（マッチ）前に2分を行います。
シングルスの場合は対戦相手と行ってください。ダブルスはパートナーと行ってください。この際のシャトルは各自で準備してください。
- 17 試合が連続した場合、試合終了後10分間以上間隔を空けます。また、進行上コートを展開して行う場合があります。

- 18 予選リーグは、3 試合すべて行います。2 試合が終了した時点で勝利チームが決まった場合は、両チームの監督了解のもと、第2ダブルスの選手変更ができるものとします。なお、選手変更をした後の結果も、予選リーグの結果に反映されます。予選リーグでの順位は、下記の順序に従って決定し、各リーグの1位が決勝トーナメントに進出します。
- ①団体戦の勝数⇒②試合の勝数⇒③ゲームの得失差⇒④得失点差数⇒⑤直接対決での勝利チーム
- 決勝トーナメントは、2 勝先取とします。試合を並行して行う場合は、試合の順序に関係なく勝敗が決定した時点で打ち切りとします。
- 19 予選リーグの審判は試合をしていないチームが行います。（北信越小学生バドミントン連盟27年度総会確認事項）
- 該当ブロックの試合のないチームは主審1名・線審2名、得点係1～2名を予め用意してください。
- 決勝トーナメントの審判は主催者側で行いますが、得点係を相互のチームでお願いします。
- 20 選手・監督・コーチ・審判員は、体育館シューズを着用してください。
- 試合中の服装は、(公財)日本バドミントン協会審査合格品とし、背面には「所属（チーム名または県名）、氏名（フルネーム）」を表示してください。ゼッケンは4点留めとします。合同チームは各々のチーム名の表示でもかまいません。
- 22 その他は、代表者会議における打合せ事項のとおりとします。

一 般 注 意 事 項

- 1 競技会場の開館時間については、1日・2日共に8時00分です。
- 2 競技会場は土足厳禁です。競技役員（係員）の指示や会場の指示に従い、「外履き」と「内履き」の区別をつけてください。シューズは袋等に入れて各自で保管をお願いします。
- 3 団(クラブ)旗・応援旗等を使用する際には、競技に支障のないように配慮をお願いします。
- 尚、大会本部が競技・大会運営に支障があると判断した場合には、指示に従って撤去又は移動してください。（大会本部の上には掲示しないでください）
- 4 観客席からの大声の助言・指導およびフラッシュ・ストロボを用いての写真撮影等、競技に支障をきたす行為は禁止します。また、競技会場内の電源(コンセント)の使用は禁止します。
- 5 競技会場の外から持ち込んだものから出たゴミは、各自が責任を持って持ち帰ってください。
- 6 競技中、選手の疾病・傷害については、応急処置のみ主催者側で行いますが、その後は各自で処置を行ってください。
- 7 傷害保険の適用は、大会参加選手・大会に登録申請をしたコーチを対象とし、開催期間中の自宅出発から自宅帰宅までとする。万一、けが等が発生した場合は、速やかに大会本部、もしくは大会事務局に連絡してください。ただし、状況によっては傷害保険対象外になる場合もあります。
- 8 防犯上、貴重品をはじめ私物の管理は、各自で責任を持って行ってください。盗難等のトラブルが生じた場合、大会本部はその責任を負いません。
- 9 競技会場2階の観覧席から応援する場合、危険防止と他の観客の為、必ず着席して応援してください。また、東側・西側通路下の座席は応援席とします。荷物などを置いたままにしないでください。
- 10 競技会場内の通路や玄関前等での「素振り」「シャトル打ち」は大変危険ですので、行わないようにしてください。
- 11 喫煙に関しては決められた場所をお願いします。
- 12 体育館のランニング走路でのウォーミングアップは禁止です。